

日本体操学会 第10回学術研究集会報告

## テーマ：ライフステージに応じた様々な体操

2015年3月14日（土）、東海大学高輪キャンパス体育館アリーナ（品川区高輪）において、「ライフステージに応じた様々な体操」をテーマとして、日本体操学会第10回学術研究集会が開催されました。古川善夫教授（北海道教育大学旭川校）を講師として、参加者30名は笑顔とともに心地よく「古川ワールド」へと引き込まれながら体操を楽しみました。



2015年3月末日をもって定年退職される古川先生からは、これまでの体操の実践や指導に対する取り組みを資料や実技で紹介していただきました。その内容は、単なる紹介だけにとどまらず、参加者からのお話やアイデアを臨機応変に次々に引き出すという方法で展開されました。より豊かで笑顔の生まれる体操は、「音楽」「人」「用具」を巧みに使って、指導者と参加者が一緒になって創りあげることができる、ということを実感しています。まさに「動いて学び、学んで動く」という体操学会の基本理念を体験できた学術研究集会でした。

終始和やかな雰囲気、かつ有意義な時間と体操を共有できたことを、古川先生及び参加者の皆さんに深く感謝申し上げます。（大塚隆）

